

1、山崎圭一「ブラジルと中南米から見る、

多極的で代替的な国際秩序の可能性」

9月3日・4日に開催された基礎経済研究所研究大会、1日目共通セッション「『ウクライナ戦争』と世界経済・国際秩序のゆくえ」における報告のために提出した報告資料を転載させていただきました。

2、平井文子「中東から見るウクライナ戦争」

中東諸国の冷めた目と前哨戦ともいえるシリア内戦とのかかわりを分析。

3、モダン・ディプロマシー「アフリカ諸国が米の反ロシア法案に異議」

8月の南部アフリカ開発共同体（SADC）首脳会議が非同盟を強調。

4、A・デ・サヤス「FDRの4つの自由と大西洋憲章を復活させよう」

国連報告官も務めた国際法専門家がNATOの対中・対ロ政策を批判

5、環球時報「中国外相が3つの懸念」

7月7、8日にインドネシアのバリで開かれたG20外相会合に出席した王毅外相の発言と行動を、中国共産党系の国際情報誌が詳報。

6、グレイゾーン「ウクライナ軍兵士が語る援助の略奪」

ウクライナへのアメリカからの援助が横流しされて現場に届いていないとウクライナ軍の兵士（複数）が告発しています。

7, 大村哲「極端豪雨と地球温暖化は関係があるのか」

川瀬宏明『極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか』(同人新書, 2021/8)の紹介。